

# 花さき山

タイトル文字:滝平二郎

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*

#### 意見コンシェルジュ

毎週火曜日·木曜日 10:00~14:30

育児のお悩み相談が 出来ます。 お子様にオススメの本も 紹介します。

※専門スタッフが対応します。

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*

場所:明野図書館 視聴覚室

日時:1月30日(日)

10:00~11:45

内容:「お料理帖」

(上映時間:約105分)

対象: 先着10名

申込:1月18日(火)

~1月28日(金)

電話または窓口にて受付

## 図書館サイト 説明会

お手持ちのスマートフォンやタブレットで

図書館サイトを活用しませんか?

使い方をご説明します!

日時:1月5日(水) 11:00~12:00

定員:5名(電話または窓口にて受付。

当日受付も可。)

### 教えて! みんはのおすすめる

場所:明野図書館 特設コーナー

内容:館内にあるおすすめしたい本を

選んで特設コーナーに置いてある

箱に入れてください。

みんなのおすすめ本として

展示します。



スタッフおすすめコーナ 1月のテーマは 「あったか~~い



寒さをふっとばしてし まうような、あつあつの 本はいかがでしょう か?





#### 加波山事件 外伝 Ⅰ(全6回)

はんしちみちこ

# 加波山事件に関係する政談演説会の会場になった小島座の歴史 (第5回)一木先生の講和と映像①

下館商工会議所主催の歴史講座に、一木先生が講師として迎えられ講演を行いました。講演の中で、小島座の稲荷神社の取り崩しがされる折、資料を保存したということで、映像を持ち得て説明されました。

小島座の稲荷神社は笠間稲荷神社から分霊されたもので、取り崩しの後、稲荷様の 実家「笠間稲荷神社」にお戻りいただいたとのことです。(小島 毅氏の話)

後に、先生のお宅に伺い、小島座の話、保存した資料などを見せていただきました。 その資料の中に、今の杉山印刷で刷られた小島座の映画のチラシを4枚戴き、うち3 枚は、大正8・9年、もう一枚は定かでないのですが大正7年かもしれません。

小島座の稲荷神社は**いね**が映画館の成功を祈願して建てたものと思われます。先生の所に「大きな木の額」があり、この額は稲荷神社拝殿の中に有ったもので、立派な額です。額には、『大正9年2月 日本活動写真株式会社 館主 小島いね 』とある。

戴いたチラシ中の1枚、「特別大提供 水戸黄門漫遊記」とある中に、映画館としての小島座の終焉を告げています。チラシには、『謹告 大正9年1月15日を以て、活動写真営業を休演し爾後は劇場として・・・』とある。(日活と提携して半年・・・「つまり大正8年8月に日活と専属契約を結んでいる」)

日活会社と協議の結果、活動写真営業一切を三吉館に於いて会社直接営業仕ることに決定・・・その他3枚のチラシで、弁士5人がおり、うち一人は女性と分かります。 弁士の語りには、バイオリン・ギターなどの音楽担当者もいました。 新派劇の映画の時は、義太夫語りと三味線の方々がいました。

三吉館は小島座の同業者です。明治22年に鉄道が走り、稲荷町の開発が進み、人口も増えて下館の中心が稲荷町に移りました。「下館市史下」 359頁に三吉館という映画館は、現在の吉見屋の所に建てられ、荒為の資本投資により経営され、大正から昭和初期における下館の娯楽センターの役割をはたしたとあります。大正9年1月24日のいはらき新聞によりますと、来月25日(旧正月5日)、下館劇場開場 菊五郎一行来る。